

平成 31 年 3 月 29 日発行



農業担い手メールマガジン (第 2 6 7 号)



<トピックス>

1. 31 年度強い農業・担い手づくり総合支援交付金（先進的農業経営確立支援タイプ・地域担い手育成支援タイプ）の要望調査を実施しています
2. （公募）青果物の輸出拡大の取組を支援します！
3. 農業法人等の経営者・管理職の方へ・ご夫婦で農業に取り組む方へ 女性が働きやすい職場づくりテキスト・映像教材をぜひお役立てください！
4. 6 次産業化の取組事例集の更新について
5. 情報誌「ロジカチャンネル」24 号は 6 次産業化のサンドイッチ特集です！
6. 動物検疫所より～海外旅行時の手荷物検査強化中～
7. 農林水産技術会議事務局から研究成果情報等のお知らせ

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

【1. 31 年度強い農業・担い手づくり総合支援交付金（先進的農業経営確立支援タイプ・地域担い手育成支援タイプ）の要望調査を実施しています】

本事業は、適切な「人・農地プラン」が作成されている地域において、プランの中心経営体等が融資を活用して農業用機械・施設を導入する際、融資残について補助するものです（補助率：事業費の 3/10 以内）。

◇要望調査期間

平成 31 年 3 月 12 日（火）～4 月 16 日（火）

経営体育成支援事業が新しい事業になりました！

新しい事業では、次の 2 つのタイプで農業経営の発展を支援します。

■地域担い手育成支援タイプ（補助上限 300 万円）

■先進的農業確立支援タイプ（補助上限額 個人 1,000 万円、法人 1,500 万円）

本事業の活用をお考えの方は、市町村にご相談ください。なお、農業者から市町村への申請期限は上記の期限よりも早く設定されますので、市町村にご確認ください。

◇詳しくはこちら

[http://www.maff.go.jp/j/keiei/sien/31\\_kofukin/index.html](http://www.maff.go.jp/j/keiei/sien/31_kofukin/index.html)

◇お問い合わせ先

農林水産省経営局経営政策課担い手総合対策室担い手支援第1班

TEL : 03-6744-2148

【2. (公募) 青果物の輸出拡大の取組を支援します！】

「青果物グローバル産地緊急対策事業」では、輸出に取り組みたい生産者に対し、輸出先国の検疫・残留農薬規制に対応した栽培技術や輸送技術の導入・実証、ブランド化の推進、これらの取組と一体的に行う施設・機械のリース導入等、生産・流通・販売段階の取組を支援します。

本事業は、生産者や生産者と輸出事業者等で構成する協議会を支援対象としています。詳しい支援内容や応募要件は、以下リンク先よりご覧ください。

◇事業公募期間

平成31年3月25日（月）～4月19日（金）

◇詳細はこちら

[http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisan/190325\\_1.html](http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/seisan/190325_1.html)

◇お問い合わせ先

農林水産省生産局園芸作物課

TEL : 03-3502-5958

【3. 農業法人等の経営者・管理職の方へ・ご夫婦で農業に取り組む方へ 女性が働きやすい職場づくりテキスト・映像教材をぜひお役立てください！】

女性を経営の担い手として雇用したい！夫婦・家族でパートナーシップ経営を目指したい！

そんな方にぴったりの「農業版 女性が働きやすい職場づくりポイントガイドブック」が、(公社)日本農業法人協会HPでダウンロードできるようになりました。また、取組のポイントを解説した動画も公開されています（平成30年度農水省補助事業）。

男性も女性も働きやすい、より良い農業経営にするために、今こそ学びのチャンスです。ぜひご活用ください！

◇ダウンロード先

<http://hojin.or.jp/standard/100/joseikatsuyaku/cat3359/>

（日本農業法人協会ホームページ）

◇内容

<農業法人等の経営者・管理職の方向け>

★コミュニケーション・人材育成編（従業員との円滑なコミュニケーション、農業経営体における人材育成のためのポイントを解説）

★労務管理編（女性を雇用する際に求められる制度等を解説）

★労働環境改善編（女性に配慮したハード面の整備、作業環境の見直しを解説）

<ご夫婦で農業に取り組む方向け>

★家族経営編（家族農業におけるパートナーシップ経営とワーク・ライフ・バランス、家族経営協定を解説）

※平成30年度に日本農業法人協会が実施した「農業版 女性が働きやすい職場づくりセミナー」「家族農業版 働き方改革セミナー」の内容を基に作成されたものです。

◇お問い合わせ先

（公社）日本農業法人協会（担当：政策課）

TEL：03 - 6268-9500

農林水産省経営局就農・女性課（担当：柚木、宮地）

TEL：03-3591-5831

#### 【4. 6次産業化の取組事例集の更新について】

6次産業化の取組事例集の最新版（平成31年2月時点版）を公表しました。

六次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定を受けた全国各地の取組事例等の中から特徴的な取組（計165事例）を抜粋し、それぞれの取組の概要や効果、課題の解決方法等を掲載しておりますので、是非ご覧ください。

◇事例集はこちら

[http://www.maff.go.jp/j/shokusan/renkei/6jika/torikumi\\_jirei/jireisyu.html](http://www.maff.go.jp/j/shokusan/renkei/6jika/torikumi_jirei/jireisyu.html)

◇お問い合わせ先

農林水産省食料産業局産業連携課企画班

TEL：03-3502-8246

#### 【5. 情報誌「ロクジカチャンネル」24号は6次産業化のサンドイッチ特集です！】

6次産業化のフリーペーパー「ロクジカチャンネル」の24号では、産地の食材を楽しむ極上サンドイッチを特集！サンドイッチに合うロクジカ食材もたくさん紹介していますので、自分だけのお気に入りのサンドイッチを作って朝食やピクニックを楽しまれてはいかがでしょうか？

都内でのロクジカチャンネルの配布先は「のもの秋葉原店」「のもの上野店」「のもの東京（東京駅）」

「まるごとにつぼん（浅草）」「むらからまちから館（有楽町）」等です。

配布数には限りがありますので、ご了承ください。

以下のURLからもロクジカチャンネルをご覧いただけます。

◇ロクジカチャンネルHP

<https://6ch.agrijournal.jp/about/>

その他の配布先に関しましては、お近くの農政局にお問い合わせください。

◇地方農政局等一覧（ページの下部に一覧があります）

<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/sanki/6jika.html>

◇お問い合わせ先

農林水産省食料産業局産業連携課企画班

TEL : 03-3502-8246

**【6. 動物検疫所より～海外旅行時の手荷物検査強化中～】**

現在、中国、モンゴル、ベトナムで、豚の病気であるアフリカ豚コレラが発生しています。

アフリカ豚コレラは、国内で発生している豚コレラと同じように危険な伝染病です。ウイルスに汚染された肉や物等によっても感染し、ワクチンや治療法也没有せん。

実際に、日本の空港で動物検疫所が検査した旅客の肉製品からアフリカ豚コレラウイルスの遺伝子が見つかっています。

アフリカ豚コレラの日本への侵入を防ぐために、動物検疫所では入国時の手荷物検査を強化しています。海外にご旅行の際は、肉製品を日本に持ち帰らないようお願いします。

また、海外で農場に立ち入ったり、家畜に触れたりしないようにしてください。やむを得ず農場などの畜産関連施設へ立ち入ったり、家畜に接触したりした場合には、病原体が人や物に付着しているおそれがありますので、帰国時、税関検査の前に動物検疫カウンターへお立ち寄りくださいますようお願いいたします。

◇詳しくはこちら

<http://www.maff.go.jp/aqs/topix/mizugiwa.html>

◇お問い合わせ先

農林水産省動物検疫所企画管理部企画調整課

TEL : 045-751-5923

**【7. 農林水産技術会議事務局から研究成果情報等のお知らせ】**

◇コーヒー粕で土壌消毒

農研機構はコーヒー粕を利用した新たな土壌消毒技術を開発しました。コーヒー粕と鉄塩から製造した殺菌用資材(ポリフェノール鉄錯体)を、土壌改良材として使用されている過酸化カルシウムと共に土壌に施用することにより、青枯病の発病が抑制されることを実験室レベルで確認しました。安全で環境負荷も少ない防除技術としての展開が期待できます。

[農研機構]

[http://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/nivfs/120727.html](http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nivfs/120727.html)

◇カメムシの卵が一斉に孵化する巧妙なメカニズムを発見—ある卵が割れた振動を合図にきょうだいの卵が孵化する—

国内で広く見られるクサギカメムシにおいて、卵塊中のある卵が孵化を始めて殻が割れた瞬間、発生した振動が周りに感じとられ、一斉に孵化が起こることを発見しました。

[京都大学][[森林研究・整備機構]

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/press/2018/20181228/index.html>

◇平成30年度農業機械安全性検査合格機(第5次分)―自動化農機検査合格機の第1号―  
農研機構は、より安全な農業機械の普及を図ることを目的に、農研機構法第14条に基づき農機具の安全性検査等を実施しています。このたび、平成30年度第5次分として安全基準に適合となった1機種8型式について、公表しました。

[農研機構]

[http://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/iam/120805.html](http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/iam/120805.html)

◇明日のお米作りのための「直播選択ドットネット」 新ウェブサイトを開設  
アンケートにご回答いただくと、代表的な6つの技術（「プラウ耕グレーンドリル乾田直播」「不耕起V溝乾田直播」「カルパー直播」「鉄コーティング直播」「べんモリ直播」「無コーティング直播」）の中から、それぞれのコメ生産者に比較的対応した技術を提案します。

[農研機構]

[http://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/tarc/121141.html](http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/tarc/121141.html)

◇害虫の唾液からイネの食害を促すタンパク質を発見  
農研機構は、イネ害虫のツマグロヨコバイの唾液から、イネの食害に必要な不可欠なタンパク質「NeSP75(エヌシーエスピーななじゅうご)」を発見しました。このタンパク質の発現を抑えると、ツマグロヨコバイはイネの液汁(篩管液等)を吸うことができなくなり、成長が阻害されるとともに、産卵数が減少しました。

[農研機構]

[http://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/nias/121465.html](http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nias/121465.html)

◇キクタニギクのゲノムを解読、開花に関わる遺伝子探索へ ―栽培ギクの起源を明らかにし、品種改良を加速―

かずさDNA研究所、農研機構、東京大学、広島大学および日本大学は共同で、キクタニギクのゲノム解析を行い、開花に関わる遺伝子の探索と栽培ギクのゲノム配列変異の検出などを行いました。

[かずさDNA研究所][農研機構]ほか

<http://www.kazusa.or.jp/news/20190204/>

◇平成30年度農業機械安全性検査合格機(第6次分)―基準をクリアした安全性の高い農業機械―  
農研機構は、より安全な農業機械の普及を図ることを目的に、農研機構法第14条に基づき農機具の安全性検査等を実施しています。このたび、平成30年度第6次分として安全基準に適合となった3機種4型式について、公表しました。

[農研機構]

[http://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/iam/121171.html](http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/iam/121171.html)

◇コムギの粒数を制御する遺伝子を発見 —「きたほなみ」の多収の秘密が明らかに—  
農研機構と鳥取大学他の研究グループは、コムギの着粒数を制御する遺伝子を発見しました。この遺伝子の変異することにより、コムギの収量が向上することを明らかにしました。また日本の多収性コムギ「きたほなみ」の多収性には、この遺伝子が寄与していることがわかりました。

[農研機構]ほか

[http://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/nics/121671.html](http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nics/121671.html)

◇遺伝子選抜により、地鶏の発育性が向上 —地鶏生産者の売り上げ増加に貢献—  
農研機構は、秋田県畜産試験場、岐阜県畜産研究所、熊本県農業研究センター畜産研究所、宮崎県畜産試験場と共同で、4県の地鶏(秋田県の比内地鶏、岐阜県の奥美濃古地鶏、熊本県の天草大王、宮崎県のみやざき地頭鶏)について、生産の基になっている種鶏を特定の遺伝子型で選抜することにより、地鶏の発育性を向上させ、出荷時体重を増加させることに成功しました。

[農研機構]ほか

[http://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/nilgs/121553.html](http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nilgs/121553.html)

◇カメムシに特異的な免疫の仕組みを発見—カメムシだけに作用する害虫制御技術開発への応用に期待—  
これまでに知られていない新しい昆虫の免疫機構の一端を、果樹の害虫であるチャバネアオカメムシで解明しました。昆虫の免疫機構は微生物等の体内への侵入を認識することで働きますが、カメムシ目昆虫には特有の微生物認識タンパク質が存在することを世界で初めて明らかにしました。

[農研機構]

[http://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/press/laboratory/nias/121532.html](http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nias/121532.html)

◇草原植物が支える共生微生物の驚くべき多様性 —草原生態系は微生物資源の「銀行」—  
植物の種多様性が極めて高い長野県菅平高原において137種の植物を網羅的に調査し、その葉や根に膨大な種類の細菌(バクテリア)と真菌(かび・きのこ・酵母類)が共生していることを見出しました。

[京都大学][森林研究・整備機構]ほか

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/press/2019/20190220/index.html>

◇お問い合わせ先

上記の内容は、各機関に直接お問い合わせ願います。

◆◆◆編集後記◆◆◆

今年度最後の配信となりますが、1年間いかがでしたか。私事で恐縮ですが、今号をもちまして担当を離れることになりました。これまでお読みいただきありがとうございました。

「農業担い手メールマガジン」は、今後も担い手の皆様の経営にお役立ちする情報を配信してまいります。引き続きご愛読いただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。(金彦)

- 経営局公式Facebookページ「農水省・農業経営者net」

→ <http://www.facebook.com/nogyokeiei>

- ご意見・ご質問はこちら

→ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/keiei/180817.html>

- リンクURLの一部にPDF形式のものがあります

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。PDFファイルをご覧いただくためには、農林水産省ホームページ「3PDFファイルについて」をご覧になり、「GetAdobeReader」のアイコンでAdobeReaderをダウンロードしてください。

→ <http://www.maff.go.jp/j/use/link.html>



- 電子出版：農業担い手メールマガジン
- 発行日：毎月1回発行
- 発行元：農林水産省経営局経営政策課 担当：吉田、金彦（かねた）、兼田

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ [http://www.maff.go.jp/j/kobetu\\_ninaite/n\\_hyousyou/hyousyou\\_merumaga.html](http://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_hyousyou/hyousyou_merumaga.html)

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

